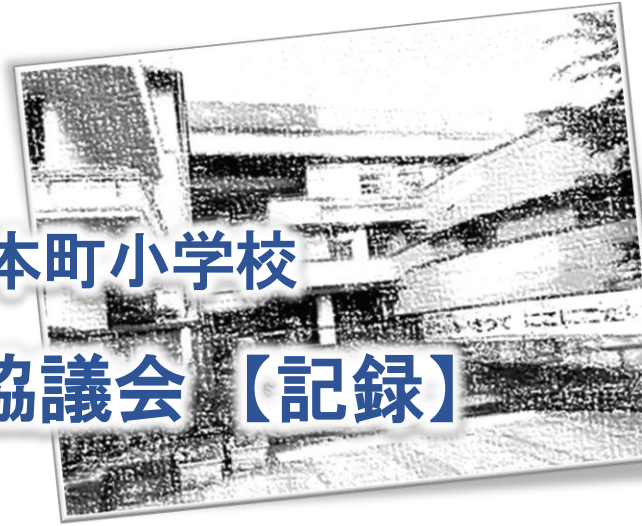




令和3年度 横浜市立本町小学校

第3回 学校運営協議会【記録】



日時:令和3年10月15日(金) 15:45~16:55

司会・記録:事務局

<参加者>(略)

1. 開会挨拶

2. 会長挨拶

3. 校長挨拶

- ・ 10月からやっと通常登校、学校生活の基盤をしっかりと作っていく時期。
- ・ 子ども達は我慢を強いられている。(高学年の宿泊→日帰り遠足)教職員で工夫を考えている。
- ・ □□委員が学校地域コーディネーターの資格取得。委嘱。

4. 9月までの学校運営について(詳細は、資料を参照)

○ 学校行事(事務局)

- ・ 全校児童が集まるものは行っていない。朝会などはテレビ放送など。
- ・ 日帰り遠足でバスでの移動は、感染症防止のため、間隔を空けて密を避けている。

○ 教科等の学習(事務局)

- ・ 三密を避けるように対応している。
- ・ 授業参観を11月に予定。

○ 子どもたちの学校生活の環境(事務局)

- ・ 発育測定など健康診断で、間隔を空けることが身に付いている。
- ・ 給食も黙食、間隔を空けている。

○ 重点研究(事務局)

- ・ 学区の恵まれた環境を学習に生かしていきたい。
- ・ 外国につながる児童が20%いるからこそ、活動を通して学ぶことが重要ととらえている。
- ・ 本物に触れながら学びを深めていくことで、「夢中になる」「相手のよさを認める」「自分の変容に気付く」「まちのよさに気付く」ようになる。→「自分・本物・仲間と響き合う」が研究テーマ。
- ・ 現状、コロナのため、外に行けないし人と関われない。重点研究会は中止となり、公開研究会は校内の研究会になった。学びは止めないという姿勢でいる。

○ ICT活用(事務局)

- ・ 一人1台、タブレットを貸与され活用している。
- ・ 各学年の取組については資料を参照。
- ・ タブレットの扱い方についての注意喚起を学校から発信。

5. 学校評価(事務局)

- ・ 中期学校経営方針の最終年。次年度から3年後は120周年。そこを見据えていく。
- ・ 学校運営協議会からも、外部評価としていただく。
- ・ 校内で、学校評価会議を行う。また、校内で各部会に分かれて、重点取組目標の実現に向けて計画を立てて実行している。

○ A部会(確かな学力)

- ・ 研修(ICT 研修)で職員のスキルアップを図った。
- ・ 全国学状の分析。11月にHPに掲載予定。

○ B部会(豊かな心)

- ・ 昇降口に心が温かくなる言葉を掲示している。
- ・ 人権週間の際に、各学級で取り組む。
- ・ 気になる児童の共有をしている。また、児童理解研修を2ヶ月に1回取り組んでいる。

○ C部会(健やかな体)

- ・ 食育推進校として、横浜吉田中学校と連携。栄養教諭が中学校の家庭科の授業をしている。
- ・ 11月以降、なわとびタイムを行っていく。
- ・ 学校保健委員会を全学年が参加できるようにした。今年は「かむかむ大作戦」。

6. 委員のみなさまから

- ・ コロナで2年。この影響はどうか。子ども達の学力は落ちるのではと懸念している。
(事務局)
⇒ 少ない時数で、工夫して学習内容に漏れが無いようにしている。学力にあまり影響は無さそう。
- ・ 学校評価の取り方について。コロナのいろいろな影響を見取る質問を用意するのはどうか。
- ・ 質問項目にコロナ関連で聞いてみたいことを入れてみたり、コロナに対する自由記述を入れたりするか。不安なものを存分に書いてくださいというようなスタンスで。
- ・ こういう時期だからこそ、聞いてみたらどうか。「分散の時にどう思ったか」など視点を絞ったら、分散時に学校がとった方法がよいかよくなかったとか今後の参考になるのではないか。
- ・ 行事をどう進めていくか、保護者・子どもに対しての発信が早い。早めに、何ができて何ができないということを示していたから、家庭も子どもも納得。早めに計画を立てて決断をするのは大切。
- ・ H29から生活総合。この学校にとって生活・総合はメリットが大きい。材・人と関わる。
- ・ 公開研で、他の学校にも発信してほしい。
- ・ 社協から「ふれあい給食はあるのか」と聞かれたり、地区センターから「絵手紙の交流は無いか」と聞かれたりした。コロナでつながりが無くなってしまった。地域の人は子どもたちとの関わりを欲している。
- ・ 絵手紙は嬉しい。まちの人も喜ぶので、コロナが収まったらお願いしたい。
- ・ どの学校も同じだと思うが、何が正解か分からない中で、判断をしていく状況。
- ・ それぞれが判断をするために、密に情報を交換している。
- ・ 結果として違う判断をしていることもあるが、自信をもって保護者や子どもに説明ができる。
- ・ 授業研究の材のテーマをみると、「まちの人たちに笑顔になってほしい、元気になってほしい」というも

のが多い。内側からそう思っているのが本町の強みである。

- ・ 学力については、従来の時と比べてどれだけ身に付いていたのか分からない。ただ、計画を練り直してくれたり、ロイロを使ってくれたりしているので滞りなくできているのではと思う。
- ・ 自分の子どもは、毎日4時45分に発表されるコロナの人数を気にしている。また、スーパーでは、間隔をあけて並んでいる。自然と身に付いている。
- ・ 奨励会として活動できていないが、本日の例会で今後できそうなことがないか検討する。

7. 閉会挨拶

8. 今後の予定について

- ・ 令和4年2月19日(土)13:30～第4回学校運営協議会